

【調査研究部門】北海道大学の姫野完治先生を講師に招いて「教職キャリア研究会(第6回)」を開催しました。

平成27年3月16日に、北海道大学大学院教育学研究院の姫野完治先生を講師としてお招きし、「経験から学習する教師をいかに育むか」というタイトルで、「教職キャリア研究会(第6回)」を開催いたしました。講演では、姫野先生がこれまで関わってこられた教育実習、学校ボランティア、電子ポートフォリオ・カルテ、臨床型授業モデル等の教職に関連するさまざまな教育改革や、ライフストーリーという研究手法を用いた学生の教職志向性の変容および教員の学びについての事例研究の紹介があり、教職キャリアの形成や教員が学び続けることの目的や意味についてのお話がありました。

学び続ける教師の育成は本学のミッションでもあり、教職の職業としての特性を踏まえたうえで、教員・教職志望学生の学びや成長に対する大学側の支援という点について参加者とともに議論を深めました。ライフストーリーのような縦断的かつ質的なアプローチから学生や教師の志向やそれぞれが置かれた環境を知ったうえで、個々人のキャリア形成にとってどのような経験が「学び」につながるのかという議論は、今後の、より学際的な教職キャリア研究に繋がっていくのではないかと感じられるものでした。

来年度は文部科学省特別経費事業「総合教職キャリアセンターを基軸にした人間力・教師力を備えた教師の育成」の最終年度となりますが、教職キャリア開発センター調査研究部門では、これまでの調査研究を踏まえて、本学での教職キャリア形成支援に対する具体的な提言をおこなっていきたいと考えています。

